

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	医療ツアー		(TCM223)
講義名 (コード)	TCM_医療ツアー		(TCM223)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	日中医療通訳指導 (関野 登)	時間数	30
成績評価教員	日中医療通訳指導 (関野 登)	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	外国人患者受入業務の流れを正しく理解し、それぞれの場面での実践的な対応を習得する。 旅行業務の基礎知識と医療ツアーの企画立案に必要なノウハウを習得する。
全体の内容と概要	テーマ毎の講義終了後に事例研究や演習問題を実施して理解度を確認する。
授業時間外の学修	特になし
履修上の注意事項等	スマホを活用した下調べが必要となるケースがある。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。 満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	2/3以上の出席		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	メディカル・ツーリズム概論 1	① 本講座の概要説明 ② メディカル・ツーリズムの概念とその現状
2	メディカル・ツーリズム概論 2	外国人患者受入に対する日本の取組状況
3	外国人患者の受入業務 1	① 受入体制の整備(受入フロー) ② 関係当事者の役割(病院内、コーディネーター、医療通訳)
4	外国人患者の受入業務 2	来日前の対応(治療の環境整備)
5	外国人患者の受入業務 3	① 入院生活の環境整備 ② 治療終了時の対応
6	外国人患者の受入業務 4	リスク管理(予防と対応)
7	外国人患者の受入業務 5	トラブル対応：事例研究
8	外国人患者の受入業務 6	①日本の医療保険制度 ②医療費の検討
9	健診ツアー 1	事例研究（人間ドックツアーの問題演習と基礎知識の説明）
10	健診ツアー 2	事例研究（人間ドックツアーの解答解説と質疑応答）
11	医療ツアー企画 1	国内旅行実務の基礎（旅行業に関する法律、運賃計算等）
12	医療ツアー企画 2	海外旅行実務の基礎（国際時間計算表の見方、時差計算）
13	医療ツアー企画 3	海外旅行実務の基礎（航空時刻表の見方、所要時間の計算、航空会社の実務）
14	前期試験	前期試験
15	医療ツアー総括	①前期試験の解説 ②医療ツアー全体の総括

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「外国人患者の受入参考書」経済産業省（HPからダウンロードしてコピー配布）
参考文献・資料等	「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル」厚生労働省
備考	その他教材は独自に作成し、事前にコピー配布する